

編集・発行
関東農政局茨城県拠点地方参事官室

〒310-0061 茨城県水戸市北見町1-9
TEL: 029-221-2185 Email:ibaraki_sanji1@maff.go.jp

2025年12月26日



今月のいばらきスタッフ

CONTENTS

- <TOPICS>
 - 「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」が開催されました！
 - 「いしおかオーガニックフェスinやまと」が開催されました！
 - いばらきコープフェスタ2025に参加しました！
 - 茨城県拠点副地方参事官の一ヶ月メモ 第5回
- <EVENT>
 - 令和7年度「全国ジビエフェア」開催！
 - 「おいしい食べきり」全国共同キャンペーンを実施!!
 - 第2回いばらキラキラ★農業女子会開催予告！！

TOPICS

県内初開催

第27回「米・食味分析鑑定コンクール国際大会inつくばみらい」 が開催されました！

12月6日・7日、つくばみらい市日本スポーツ振興パークみらい(つくばみらい市総合運動公園)において、第27回「米・食味分析鑑定コンクール：国際大会」が開催されました。本大会は、米・食味鑑定士協会が1999年から各地で開催しており、県内では初開催となりました。

開催にあたり、つくばみらい市長からは「本大会が生産技術や品質向上交流の場となるとともに、未来の食と農業の発展に繋がることを願っている」とのご挨拶がありました。



つくばみらい市長



竹山地方参事官

また、開会式では、竹山地方参事官が来賓者として登壇しました。

会場には、国内、中国、台湾及び韓国から計5070点の米が出品され、審査は、食味分析計による科学的評価と専門家による官能審査（実食）で行われました。



茨城県知事



専門家による厳正な分析と審査を経て、最高位である国際総合部門金賞には18点が選ばれました。

来場者向けには、米作りの紹介や県内の特産品ブースが設けられ、米の魅力や地域ごとの特色に触れられる貴重な機会となりました。

当拠点としても、市場におけるお米の評価向上と需要拡大に向け、引き続き積極的な情報発信に取り組んでいきます。



米・食味鑑定士
協会



審査結果
はこちら



TOPICS

地域の有機農業を発信～生命つながる・つなげる・未来へ～ 「いしおかオーガニックフェスinやさと」が開催されました！



左から、竹山地方参事官、
石岡市長、柴山実行委員長

令和7年3月に「オーガニックビレッジ宣言」（※1）を行った日本有数の有機農業地域である石岡市では、12月6日に、市民・農家の有志で構成される実行委員会の主催により、朝日里山学校（※2）を会場に「いしおかオーガニックフェス in やまと」が開催されました。このイベントは、12月8日の「有機農業の日」も意識して、「生命つながる・つなげる・未来へ」をテーマに開催されました。

会場となった木造校舎や校庭では、地元で収穫した有機野菜や有機食材を使用した飲食物を販売する出店が並び、

子どもも楽しめる収穫体験・農業機械体験、市内の有機農家マップや有機農業の歴史の展示、有機農業にちなんだ映画の上映等が行われました。来場者が楽しみながら有機農業への理解が深められる、市民や農家、生産者と消費者の交流の場となりました。

当拠点では、関係機関と連携し、引き続き地域の有機農業の推進に取り組んでいきます。

※1 自治体が地域全体で有機農業に取り組む計画を策定後、自治体がそれを宣言するもの。

※2 石岡市柴内に所在する廃校になった小学校の木造校舎を活用した石岡市の体験型観光施設



TOPICS

いばらきコープフェスタ2025に参加しました！

12月6日、いばらきコープ生活協同組合主催の「いばらきコープフェスタ2025」が笠間市の笠間芸術の森公園で開催され、当拠点も参加しました。

当日は天候にも恵まれ、多くの皆様が来場（主催者発表：8,000名）し、約80のブースは大盛況となりました。



関東農政局茨城県拠点ブースでは「移動消費者の部屋」を設置し、食品安全に関する情報提供と合わせて、農産物の環境負荷低減の取組の見える化「みえるらべる」をパネルやチラシを使い多くの来場者に周知を行いました。



「みどりの食料システム戦略の実現」に向け、引き続き機会をとらえて情報提供に努めて参ります。

『環境と調和のとれた食料システムの確立・多面的機能の発揮(新たな基本計画)』

令和7年4月11日に、新たな食料・農業・農村基本計画（以下「新たな基本計画」）が閣議決定されました。

本稿では、今回策定された基本計画の内容について、全5回でお届けします。

基本計画シリーズも今回で最終回となります。

最後は、新たな基本計画に位置付けられた

『環境と調和のとれた食料システムの確立・多面的機能の発揮』 について紹介します。

食料システムを持続可能なものとするためには、食料供給の各段階において環境に与える負の側面にも着目し、環境負荷の低減を図っていく必要があります。また、多面的機能について、環境への負荷低減を図りつつ、適切かつ十分に発揮します。

具体的には、

- GX^(注1)に取り組む民間活力を取り込み、脱炭素化、生産性向上、地域経済の活性化を同時に実現する「みどりGX推進プラン」の策定
- 新たな環境直接支払交付金やクロスコンプライアンス^(注2)の実施を通じた環境負荷低減の取組
- 多様な者の参画等を得つつ、共同活動を行う組織の体制強化により、農業生産活動の継続を通じた多面的機能の発揮を促進していきます。

(注1) 脱炭素社会の実現に向け、化石エネルギーから再生可能なクリーンエネルギーに変換していく取り組み。

(注2) 補助金などの受給に一定の要件の達成を義務化すること。

新たな食料・農業・農村
基本計画のポイント



新たな食料・農業・農村
基本計画における主な
目標・KPI



橋本副地方参事官

EVENT

令和7年度「全国ジビエフェア」開催！

農林水産省は、ジビエを有効活用する取組を推進するため、ジビエを扱うフェア協賛飲食店等の情報を全国ジビエフェア特設サイトで紹介し、「ジビエを食べたい！買いたい！」機運を盛り上げ、全国的なジビエの消費拡大を図ります。

（事業実施主体：株式会社ぐるなび）

フェア開催期間
令和8年2月28日(土)まで



農林水産省HP



EVENT

食品ロス削減 「おいしい食べきり」全国共同キャンペーンを実施!!

農林水産省は、消費者庁、環境省及び全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会と連携し、忘年会、新年会シーズンの12月から1月の間、外食時の食品ロス削減の普及啓発を行っています。本キャンペーンを通じて外食での食品ロス削減につながる取組を行ってみませんか？

実施期間

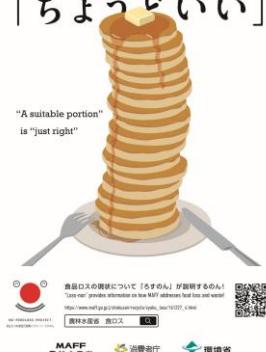
令和8年1月31日(土)まで



農林水産省HP

外食における
食品ロス対策

「ちょうど」が、
「ちょうどいい」



農林水産省HP
外食における
食品ロス対策

MAFF
農林水産省
消費者庁
Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
Ministry of Consumer Affairs and Services
Ministry of the Environment

EVENT

第2回いばらキラキラ★農業女子会開催予告！！

昨年、好評いただいた「いばらキラキラ☆農業女子会」の第2回を2026年2月中旬に水戸市内で開催予定です！皆さまお誘い合わせの上、是非ご参加ください！

参加メンバーと一緒に話しましょう♪



参加対象者

- ☆ 茨城県内の「農業女子プロジェクト」メンバー
- ☆ 茨城県内の女性農業者 等
(ご友人もお誘いいただき、ご一緒に参加も可能です♪)

参加方法

参加費無料

詳しくは、近日ご案内するチラシと
ホームページをご覧ください。

昨年の様子は
こちらから



TOPICS

広報紙をご愛読いただき ありがとうございます！

おかげさまで、本年最後まで広報紙を発行することができました。
来年もより充実した情報をお届けできるよう、来月号より発行日を毎月、末日から第一開庁日に変更し、お届けして参ります。

来年も引き続き、ご愛読いただければ幸いです。

また、今後の広報紙づくりの参考とさせていただきますので、
ぜひ率直なご意見をお寄せください。

こちらのアンケートフォームよりご回答ください。

<https://forms.office.com/r/4rn7F5DvcY>

広報紙「いばらキラキラ☆拠点だより」読
者アンケート（☆所要時間1分☆）



地方参事官ホットライン ☎ 029-221-2185



農政に関するご相談、事業や制度へのご質問などがございましたら
お気軽に地方参事官ホットラインまでお問い合わせください。
また、広報紙に関するご意見等もお待ちしています。

お問合せフォーム 茨城県拠点HP

